

「にいがた市民ソーラー応援ファンド 2016」

市民が集まって、自然エネルギー普及や新潟を元気にするために活動を続けている「おらって協議会」。現在、新潟県内に22か所の小規模太陽光発電所を建設しています。その「おらって」でこのたび「にいがた市民ソーラー応援ファンド」を募集することになりました。このファンドは、「おらって」の取り組みに賛同していただいたみなさんから、資金を出資していただき建設費に充当、そして発電で得た利益を出資者に還元する。という仕組みになっています。

「地球温暖化を防止したい!」「安全でクリーンなエネルギーを増やしたい!」「子供や孫が、安心して暮らせる世の中にしたい!」そんな思いをもった皆様からのご協力をお待ちしております。

詳しくは「おらって協議会ホームページ」<http://oratte.org>



「Eco列車でいこう!」 ~第79回 みなとトンネルに行こう!~ (CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです!)

お正月太りを解消したい。でもこの季節、どこに行っても運動すればいいのか……。そんな人には、「新潟みなとトンネル」をおすすめしよう。

新潟みなとトンネルは2005年に全面開通した、信濃川河口の真下を通るトンネルである。トンネルの換気を行う立坑が2つあり、それぞれ「入船みなとタワー」「山の下みなとタワー」の愛称で呼ばれている。エレベーターで上層階に登れば、休憩所が完備され、ガラス窓からは新潟港や日本海が一望できる。佐渡汽船や新日本海フェリーの出航風景を見るのも楽しい。

さて、地下に行ってみよう。まず安心してほしいのは、このトンネルは車道と歩道が完全に分離されており、排気ガスで嫌な思いをしたり、事故の心配をするということはない。歩道は「まち側」と「海側」の2つある。

訪れたのは1月中旬の日曜午前。まず「まち側」から覗いてみる。山の下側の入り口から入船側の入り口までは、約1.3キロある。仲睦まじく談笑をしている老夫婦、ダイエットに余念のない奥様方、春の訪れを待ちわびているマラソンランナー、小さい子を連れのお父さんなどが直線コース(歩道)を歩いたり、走ったりしている。

実はこの歩道、マラソンランナーには大変ありがたい。片道1.3キロなので、2往復で約5キロ。4往復で約10キロと、距離を測りやすい。また、最初の400メートルは下り、真ん中の500メートルはフラット、最後の400メートルは上りだ。ちゃんとアップダウンがあるので、足腰が鍛えられるのだ。

「海側」には、魚の写真が貼ってあったりして、また「まち側」よりも天井が高い。そのせいか、こちらの方が、人が多いように感じられた。

正午を過ぎると、とたんに閑散としてきた。

みなさん、午前中の運動を終えておいしいものでも食べに行ったのだろう。ちなみに消費カロリーは1時間のウォーキングで約200kcal、ジョギングで約400kcalに過ぎない。お正月太りの解消は、そう簡単なものではない。

